

一年で最も寒さが厳しい季節となり、春が待ち遠しいこの頃です。多くの方が犠牲となった能登半島地震から一月が経とうとしています。始業式には、和田校長の声掛けにより子供たち全員で黙とうを捧げました。地震についてニュースで知っている子供たちも多く、静かに黙とうを捧げる姿が印象的でした。学校では毎月一回避難訓練を実施しています。内容も地震だけでなく、火災や水害など、様々な災害に対応できるように年間を通して計画しています。訓練を通して、自分の命を守ること、みんなで助け合うことの大切さを伝えていきたいと思います。(副校長 藤上実紀)

小学部

小学部では、「好きな活動を集団の中で楽しむ」「他学年の友達と一緒に活動し、交流する」というねらいのもと、「クラブ」の時間を、2学期以降週に1回(火曜日午後)設定しています。高学年の児童を4つのグループに分け、低学年の先生をリーダーに学習します。「運動クラブ」「音楽クラブ」「ゲームクラブ」「ダンスクラブ」縦割りのグループでの学習です。いつもとは違う友達、先生との活動ですが、すぐに慣れ、子供たちはのびのびと学習しています。最上級生の6年生は皆の手本となりリードする姿も見られます。異学年の集団の中、子供たち同士が良い刺激となり、互いに成長しあえるように見守り、支援していきたいと考えています。

(小学部主任 佐藤 智子)



中学部

中学部1年生は、1月19日(金)と1月26日(金)の職業の時間に就労継続支援B型と生活介護を対象としている「ふらとなかの」へ就業体験に行ってきました。就業体験に行く前には、どのような仕事や進路先があるのかといった、将来の進路選択について考える機会がありました。

「ふらとなかの」ではパン作りやニードルフルト作りといった様々な仕事と、カフェや食堂などの施設を見学しました。初めて間近で見る仕事や施設にわくわくした様子でした。感染症などの影響で、ものづくりやカフェなどを実際に体験することはできませんでしたが、生徒から「楽しかった」「見学できて良かった」との感想を聞くこともできました。将来の進路選択の1つとして、具体的なイメージをもつことができた充実した活動となりました。

(中学部1年 吉田大亮)



高等部

1月20日(土)には、高等部文化祭がありました。多くの保護者や卒業生、地域の方々などに御来校いただき、まことにありがとうございました。作品展示、作業販売ともに、生徒の学習の成果を御覧いただけたかと思えます。作品展示は、事前に小中学部の児童・生徒も見学をし、いつもと違う体育館の様子や高等部の先輩の作品を前に少し圧倒されながらも真剣に見ていました。御来校いただいた皆様も一つ一つの作品を本当に丁寧に見ていただき、ありがとうございました。作業販売では、作業学習で日々作り上げてきた製品を、目の前で実際に買ってもらう事ができました。日頃の活動が周りの方の喜びや購入につながる、とても良い経験ができました。

(高等部主任 松本 純)



【仮設校舎の状況】

建設中の場所は、東中野地区長会連合会が東中野区民活動センター運営委員会と共に、中野区立第三中学校の跡地を「三中 プレイス」と呼び、未来の活用を考える事業を行っています。

今年度は工事中の仮囲いにアートワークを行うプロジェクト「にじいろひがしなかの」を行いました。「未来、まち、ともだち」をテーマに、本校の生徒たちも参加し壁画完成しました。近隣住民の方々だけでなく、保育園の園児なども協力し、ステッカーは600枚以上になりました。参加した人たちを合計すると、800名以上になるということです。

皆様も足を運んでいただき、直接御覧ください。

